

学校給食に地元産食材はどのくらい つかわれているのでしょうか？

こめ、牛肉、たまごは、100%！大田市産をつかっています

学校給食にできるだけ新鮮でおいしい地元産食材を使うための取り組みをしています。
お米は大田市産のコシヒカリを、牛肉は地元の牧草と稲わらで育った放牧牛を、たまごは
地元養鶏場の鶏卵をつかっています。

平成23年度地産地消の割合

○品目ベース 48.9%(大田市産:28.2%、県内産:20.7%)

□出典:島根県 学校給食の食材仕入れ状況調査 結果より

1. 大田市の地元産品の利用状況

食材分類 (11分類)	産地		
	大田市産	県内産	合計
米	90.2%	9.80%	100.0%
いも類	20.1%	1.1%	21.1%
豆類	5.6%	11.1%	16.7%
野菜類	32.6%	18.5%	51.1%
果実類	0.0%	6.9%	6.9%
きのこ類	0.0%	33.3%	33.3%
魚介類	46.7%	2.2%	48.9%
肉類	32.2%	8.5%	40.7%
卵類	90.9%	3.3%	93.3%
乳製品牛乳含む	0.0%	72.9%	72.9%
調理加工品	0.0%	53.1%	53.1%
総計	28.2%	20.7%	48.9%

2. 市町村の状況

市町村名	H23年度
松江市	37.7%
安来市	47.9%
出雲市	52.1%
雲南市	52.7%
奥出雲町	47.5%
飯南町	61.6%
浜田市	33.4%
大田市	48.9%
江津市	46.2%
川本町	48.2%
美郷町	64.2%
邑南町	60.6%
益田市	47.6%
津和野町	49.8%
吉賀町	59.9%
隠岐の島町	42.0%
海士町	46.1%
西ノ島町	23.1%
知夫村	64.0%
市町村平均	46.8%
総計	46.4%